

平成23年度
「左京区 大学と地域の相互交流促進事業」

ニュースレター



第2号

発行日 平成23年11月
発行者 左京区役所区民部総務課
Tel 702-1021
Fax 702-1301

左京区は、6つの大学が集まっており、まさに「大学のまち・左京」です。

この特性を生かしたまちづくりを進めるため、左京区役所では、大学と地域との協働の取組に助成金の交付などの支援を行う「左京区 大学と地域の相互交流促進事業」を行っています。

この事業を、区民の皆さんや大学生・教職員の皆さんなどの多くの方に知っていただき、大学と地域との協働の取組をより促進するため、ニュースレターでお知らせしています。

平成23年度支援対象事業	健やかライフを願って～いつまでも若々しく～シニア世代の食と生活
	八瀬のまちづくり基本構想づくりと歴史・旧跡マップの作成
	松ヶ崎地域新マッププロジェクト
	ミュージック・リハビリテーション・カフェ@町家
	吉田山の里山の再生に向けて

今回は「ミュージック・リハビリテーション・カフェ@町家」です。

この事業は、京都大学大学院医学研究科脳機能リハビリテーション学研究室により行われたもので、町家という落ち着いた環境で、楽器に触れるなど、音楽を楽しみながらのリラクゼーションや、運動機能の維持、嚥下障害の予防を目指したリハビリテーションを体験しました。

「ミュージック・リハビリテーション・カフェ@町家」

場所 町家「人と生活研究所 音楽と植物と・・・」

11月に町家「人と生活研究所 音楽と植物と・・・」で開催された「ミュージック・リハビリテーション・カフェ@町家」に参加させていただきました。



参加された皆さんと様々な民族楽器を奏でながら、「蘇州夜曲」や「里の秋」、「もみじ」といった懐かしい民謡の合唱したことや、ロビンさんの奏でるヨーロッパの2種類の音色が出る笛や、南アフリカの民族楽器（カリンバ）の心地よい音色に、心も身体も癒されました。

阿比留さんとロビン・ロイドさんのやさしい音楽とおしゃべりで、町家は和やかな空気に包まれました。

最後に、ラベンダーのお茶とクッキーをいただき、時間を忘れ談笑。

参加された方も皆さん笑顔で、次回開催を心待ちにされていました。



町家の住人の ご紹介

山根寛 さん

認定作業療法士，博士(医学)，登録園芸療法士，「こころのバリアフリーの街づくり」「リハビリテーションは生活」「ひとが補助具に」「こころの車いす」を提唱し，地域生活支援に関わる市民学習会「拾円塾」主宰。病いや障害があっても町で暮らす活動，生活の自律と適応の支援，作業・活動を治療・援助手段とする多職種連携を推進。現在，京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻教授。日本作業療法士協会副会長，日本精神障害者リハビリテーション学会理事等。読書，低い山のぼーっと歩き，海の素もぐり，作業療法が趣味（還暦すぎて自転車散歩が趣味に加わる）。

阿比留睦美 さん

町家の管理人。日米認定音楽療法士。アメリカ・コロラド州立大学で音楽療法を学び，群馬の脳血管障害研究所美原記念病院で脳卒中やパーキンソン病のリハビリテーションに音楽を用いてきました。現在，京都大学医学研究科博士課程で研究しながら，音楽を用いて無理なく楽しくリハビリテーションができる活動を行っています。



ロビン・ロイド さん

アメリカ・イリノイ生まれ。小さい頃から音楽活動を始め，特に民族楽器に興味を持ちました。若い頃から，世界の様々な国に住み，その地域の音楽を学ぶ。また，旅をするという生活を続けています。多彩なミュージシャンと共演したり，ライブ活動の他に音楽療法や講師なども積極的に行っています。長い散歩をしてお気に入りの喫茶店でチャイを飲みながら本を読んだりしていると幸せ。



町家「人と生活研究所 音楽と植物と・・・」とは・・・

音楽や植物を通して，無理なく，楽しく，人とのコミュニケーション。そして，心身の健康の維持・増進をはかるための場所です。

<http://www.ongakutosyokubutsuto.com/>

